



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 新明和工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 7224

URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 五十川 龍之

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 秘書・広報グループ長 (氏名) 武内 拓 (TEL) 0798-56-5002

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	44,284	1.8	2,365	42.5	2,416	60.1	1,627	71.0
29年3月期第1四半期	43,519	0.0	1,660	△62.7	1,509	△66.3	951	△67.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,047百万円 (273.0%) 29年3月期第1四半期 548百万円 (△81.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.05	—
29年3月期第1四半期	9.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	181,088	119,726	66.1
29年3月期	188,632	118,348	62.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 119,641百万円 29年3月期 118,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	94,700	2.5	4,500	△8.2	4,600	△1.6	2,950	30.90
通期	200,000	△0.6	11,000	△15.8	11,300	△14.7	7,200	△19.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	100,000,000株	29年3月期	100,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	4,534,432株	29年3月期	4,532,661株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	95,466,494株	29年3月期1Q	97,571,380株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い企業収益を背景に、設備投資や所得情勢の改善がみられるなど、景気回復基調が継続したものの、人手不足が継続することによる事業への影響が懸念されるなど、先行きに不安を残した状態で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3 カ年の中期経営方針の活動最終年度を迎え、「事業基盤の堅持と『殻』を破る新たな挑戦」を基本方針とした企業価値の更なる向上に向けた諸施策を実行いたしました。

当第 1 四半期連結累計期間の業績につきましては、事業環境が堅調に推移したことなどから、受注高は48,604百万円(前年同期比9.3%増)、売上高は44,284百万円(同1.8%増)となりました。

損益面は、航空機セグメントにおいて、為替が円安で推移したことなどから、営業利益は2,365百万円(同42.5%増)、経常利益は2,416百万円(同60.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,627百万円(同71.0%増)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

(航空機)

防衛省向けは、機体部品の受注が減少し、U S - 2 型救難飛行艇の製造作業も減少したものの、機体部品の売上が増加したことなどから、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、民需関連は、ビジネスジェット機向けの機体部品の受注が増加したものの、ボーイング社「777」向け翼胴フェアリングが、後継機への移行を控え売上が減少したことなどから、全体としては、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は3,892百万円(前年同期比0.5%増)、売上高は9,771百万円(同7.9%減)となり、営業利益は946百万円(同37.4%増)となりました。

(特装車)

車体等の製造販売は、国内需要は引き続き好調に推移し、主力の建設・環境・物流分野の特装車の需要も高水準を維持したことから、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに前年同期並みの水準となりました。

このほか、林業用機械等は、需要が高水準だった前年同期に比べ受注は減少したものの、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は24,595百万円(前年同期比14.1%増)、売上高は20,448百万円(同4.0%増)となり、営業利益は1,707百万円(同6.2%減)となりました。

(産機・環境システム)

流体製品は、受注は、ポンプなどの機器の販売が堅調に推移し増加したものの、売上は、大口の工事案件の売上計上があった前年同期に比べると減少いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機が増加したことなどから、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、環境関連事業は、プラント事業の新設案件が寄与し、受注は増加したものの、売上は前年同期並みの水準となりました。

この結果、当セグメントの受注高は9,202百万円(前年同期比17.8%増)、売上高は4,923百万円(同0.3%増)となりましたが、営業損益は280百万円の損失となりました。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、都市部での堅調な需要が継続したことなどから、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は大口案件のあった前年同期に比べ減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

この結果、当セグメントの受注高は8,882百万円(前年同期比8.6%増)、売上高は6,386百万円(同9.5%増)となり、営業利益は401百万円となりました。

(その他)

建設事業において、受注は減少したものの、売上は工事進捗等により増加し、当セグメントの受注高は2,937百万円(前年同期比22.1%減)、売上高は3,217百万円(同5.0%増)となり、営業利益は171百万円(同61.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて7,543百万円減少し181,088百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や、法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて8,920百万円減少し61,362百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,377百万円増加し119,726百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.7%から66.1%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成29年 4 月27日に公表いたしました第 2 四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

平成30年 3 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正(平成29年 4 月 1 日～平成29年 9 月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	94, 700	4, 000	4, 100	2, 600	27. 23
今回修正予想 (B)	94, 700	4, 500	4, 600	2, 950	30. 90
増減額(B－A)	—	500	500	350	—
増減率(%)	—	12. 5	12. 2	13. 5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成29年 3 月期 第 2 四半期)	92, 415	4, 903	4, 675	2, 941	30. 43

平成30年 3 月期 通期連結業績予想の修正(平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	200, 000	10, 000	10, 300	6, 500	68. 09
今回修正予想 (B)	200, 000	11, 000	11, 300	7, 200	75. 42
増減額(B－A)	—	1, 000	1, 000	700	—
増減率(%)	—	10. 0	9. 7	10. 8	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年 3 月期)	201, 204	13, 067	13, 244	8, 954	93. 17

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成29年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,772	24,820
受取手形及び売掛金	76,475	59,805
商品及び製品	3,101	3,412
仕掛品	20,273	22,936
原材料及び貯蔵品	14,836	14,840
その他	6,436	6,191
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	139,890	132,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,847	11,736
その他（純額）	18,556	18,714
有形固定資産合計	30,403	30,450
無形固定資産	2,537	2,407
投資その他の資産		
その他	15,850	16,277
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	15,801	16,229
固定資産合計	48,742	49,088
資産合計	188,632	181,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成29年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,239	24,648
短期借入金	150	150
未払法人税等	2,495	335
製品保証引当金	33	30
工事損失引当金	3,711	3,654
その他	21,755	18,669
流動負債合計	56,385	47,488
固定負債		
退職給付に係る負債	11,275	11,354
その他	2,623	2,519
固定負債合計	13,898	13,874
負債合計	70,283	61,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,738	15,738
利益剰余金	89,111	90,070
自己株式	△3,250	△3,252
株主資本合計	117,581	118,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,459	2,898
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	257	194
退職給付に係る調整累計額	△1,653	△1,613
その他の包括利益累計額合計	687	1,103
非支配株主持分	79	84
純資産合計	118,348	119,726
負債純資産合計	188,632	181,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
売上高	43,519	44,284
売上原価	36,974	36,804
売上総利益	6,544	7,480
販売費及び一般管理費	4,884	5,114
営業利益	1,660	2,365
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	72	79
持分法による投資利益	—	26
その他	20	23
営業外収益合計	96	132
営業外費用		
支払利息	4	2
持分法による投資損失	52	—
為替差損	159	44
休止固定資産費用	5	5
その他	25	28
営業外費用合計	247	81
経常利益	1,509	2,416
特別利益		
固定資産売却益	77	—
投資有価証券売却益	—	23
特別利益合計	77	23
特別損失		
固定資産処分損	24	21
特別損失合計	24	21
税金等調整前四半期純利益	1,562	2,418
法人税、住民税及び事業税	337	349
法人税等調整額	277	436
法人税等合計	614	786
四半期純利益	948	1,631
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	951	1,627

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
四半期純利益	948	1,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	438
為替換算調整勘定	△192	△34
退職給付に係る調整額	28	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△28
その他の包括利益合計	△399	415
四半期包括利益	548	2,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555	2,043
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,611	19,654	4,909	5,831	41,007	2,511	43,519	—	43,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	1	3	5	551	557	△557	—
計	10,611	19,655	4,910	5,834	41,012	3,063	44,076	△557	43,519
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	689	1,819	△285	△118	2,104	106	2,210	△550	1,660

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△550百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△549百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,771	20,447	4,922	6,384	41,525	2,759	44,284	—	44,284
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	0	2	4	458	462	△462	—
計	9,771	20,448	4,923	6,386	41,530	3,217	44,747	△462	44,284
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	946	1,707	△280	401	2,775	171	2,947	△581	2,365

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△581百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△556百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。